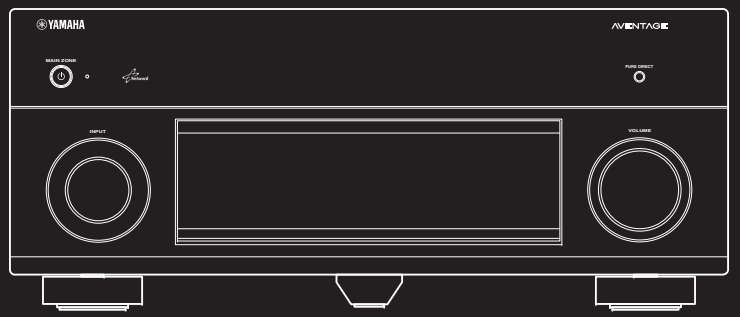
J

YAMAHA

AV レシーバー

RX-A1020

かんたん設置ガイド



本書では、5.1 または 7.1 チャンネルシステムを設置して、
本機で BD/DVD のサラウンド音を再生するまでの手順を案内します。
詳しい説明は、別冊の「取扱説明書」をご覧ください。

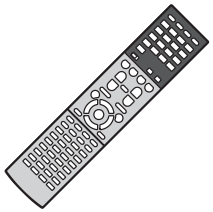
本書と「取扱説明書」の PDF 版を以下のウェブサイトからダウンロードできます。
http://www.yamaha.co.jp/manual/japan/

1 準備する

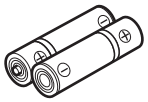
付属品を確認する

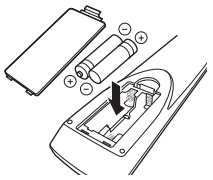
すべて揃っていることをお確かめください。

□ リモコン



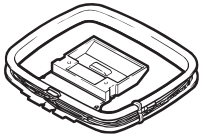
□ 単 4 乾電池（2 本）





正しい向き（＋とー）でリモコンに入れてください。

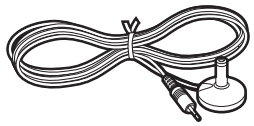
□ AM アンテナ



□ FM アンテナ



□ YPAO 用マイク



□ 電源コード



□ 取扱説明書



□ かんたん設置ガイド（本書）



必要なケーブル

本書の説明どおりに接続する場合、以下のケーブルを別途ご用意ください。

- スピーカーケーブル（スピーカーの本数分）
- HDMI ケーブル（2 本）
- モノラルピンケーブル（1 本）
- 光デジタルケーブルまたはステレオピンケーブル（1 本 *）

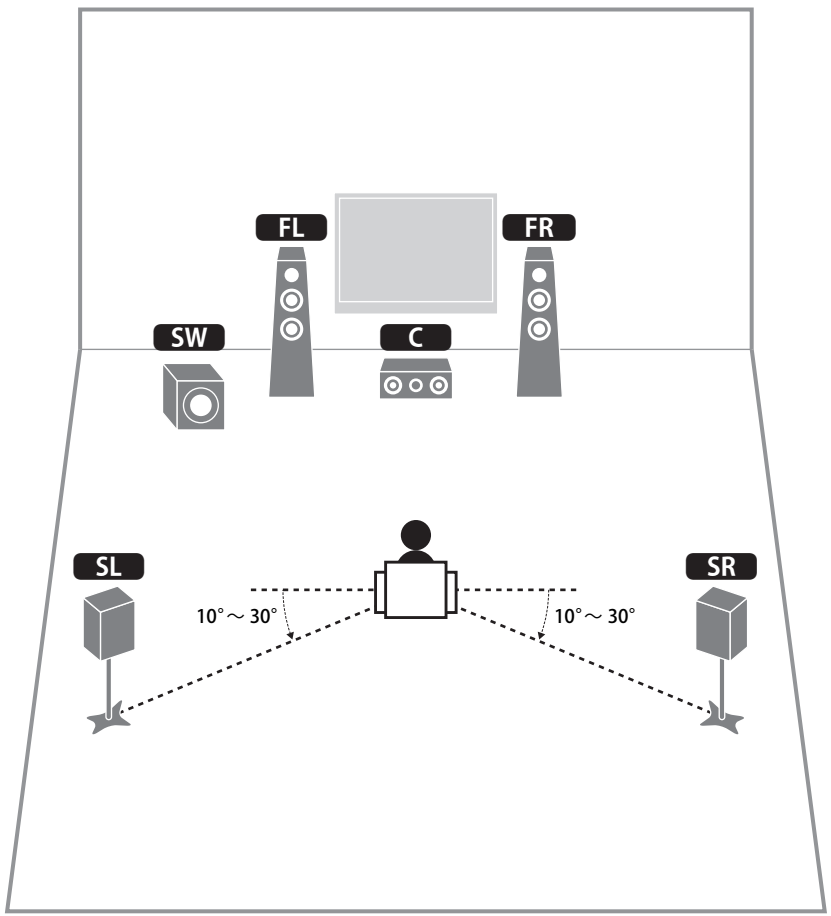
  * テレビがオーディオリターンチャンネル（ARC）対応の場合は不要

2 スピーカーを部屋に配置する

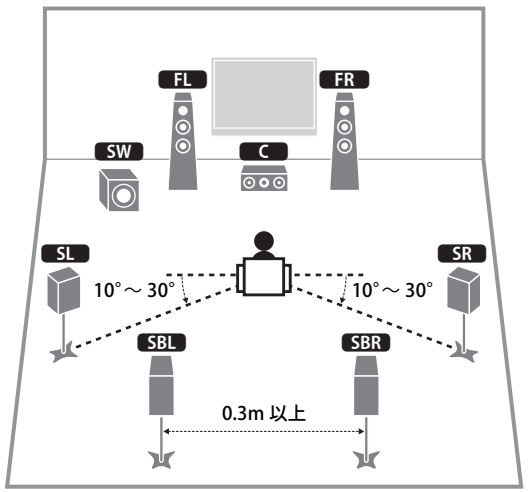
下図を参考に部屋にスピーカーを配置してください。

5.1 チャンネル、7.1 チャンネル以外のシステムでお使いになる場合は「取扱説明書」をご覧ください。

5.1 チャンネルシステム



7.1 チャンネルシステム



- **FL** フロントスピーカー（左）
- **FR** フロントスピーカー（右）
- **C** センタースピーカー
- **SL** サラウンドスピーカー（左）
- **SR** サラウンドスピーカー（右）
- **SBL** サラウンドバックスピーカー（左）
- **SBR** サラウンドバックスピーカー（右）
- **SW** サブウーファー

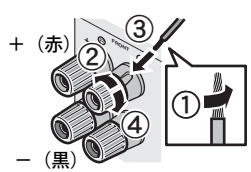
3 スピーカー / サブウーファーを接続する

- スピーカーはインピーダンスが6Ω以上のものをお使いください。
- サブウーファーはアンプ内蔵のものをお使いください。
- スピーカーを接続する前に、本機の電源プラグをコンセントから外してください。また、サブウーファーの電源を切ってください。
- スピーカーケーブルの芯線どうしが接触したり、本機の金属部に触れたりしないようにしてください。本機やスピーカーが故障する原因となります。スピーカーケーブルがショートしている状態で電源を入れると、前面ディスプレイに「Check SP Wires」と表示されます。

スピーカーケーブルを接続する

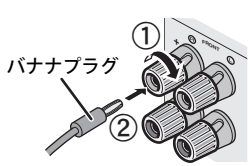
通常スピーカーケーブルは 2 芯（＋と－）で 1 本になっています。片方で本機とスピーカーの－（マイナス）端子どうし、もう一方で＋（プラス）どうしを接続してください。色で区別されている場合、黒を－（マイナス）側、もう一方を＋（プラス）側と決めておくと間違わずに接続できます。

① ケーブル先端の絶縁部（被覆）を 10mm ほどはがし、芯線をしっかりとよじる。
② スピーカー端子をゆるめる。
③ 端子側面（右上または左下）のすき間にスピーカーケーブルの芯線を差し込む。
④ 端子を締め付ける。

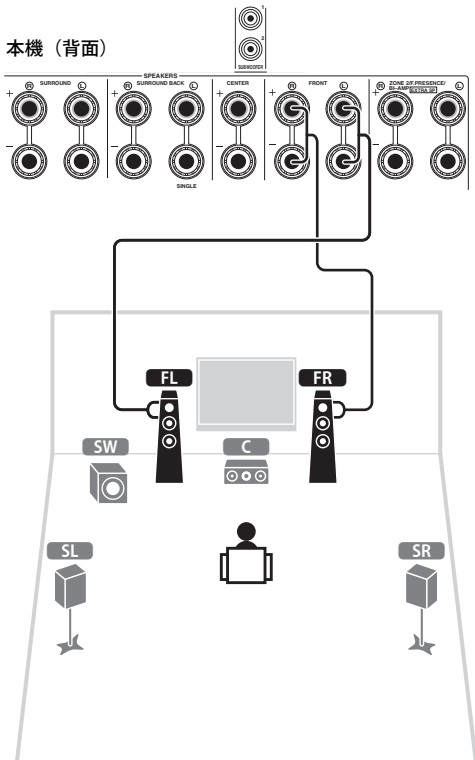


バナナプラグを使用する場合

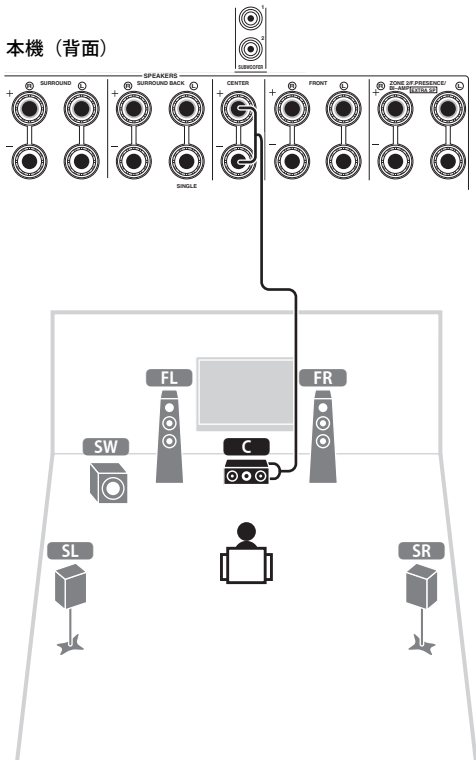
① スピーカー端子を締め付ける。
② 端子にバナナプラグを差し込む。



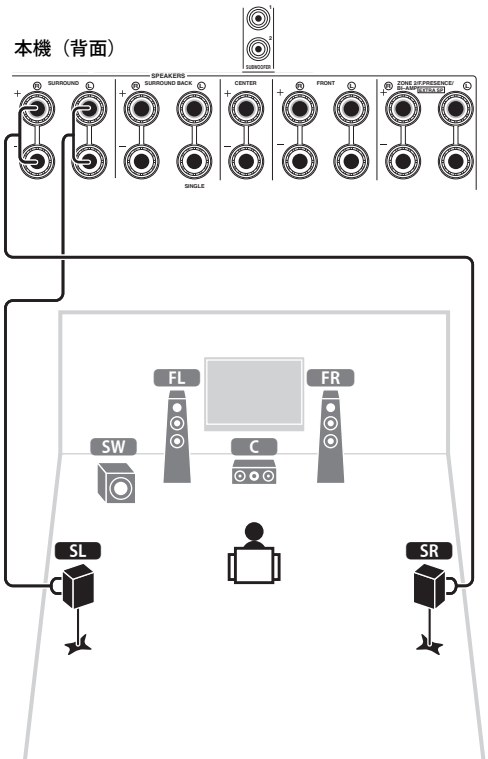
1 フロントスピーカー（FL/FR）を FRONT（Ⓛ/Ⓡ）端子に接続する。



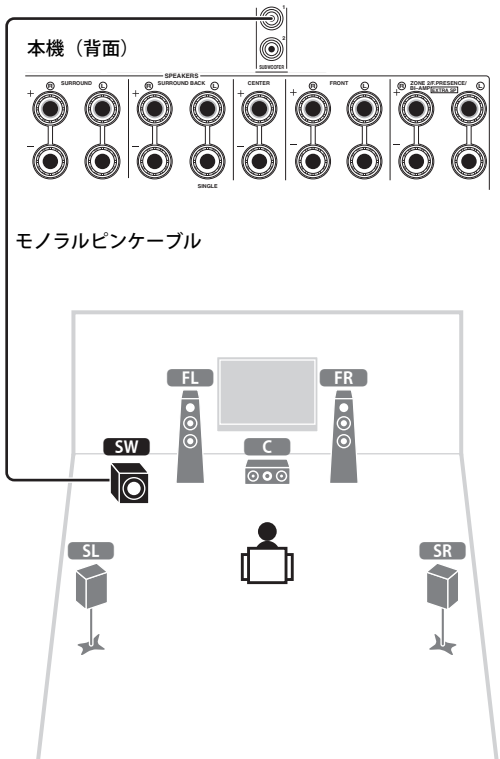
2 センタースピーカー（C）を CENTER 端子に接続する。



3 サラウンドスピーカー（SL/SR）を SURROUND（Ⓛ/Ⓡ）端子に接続する。

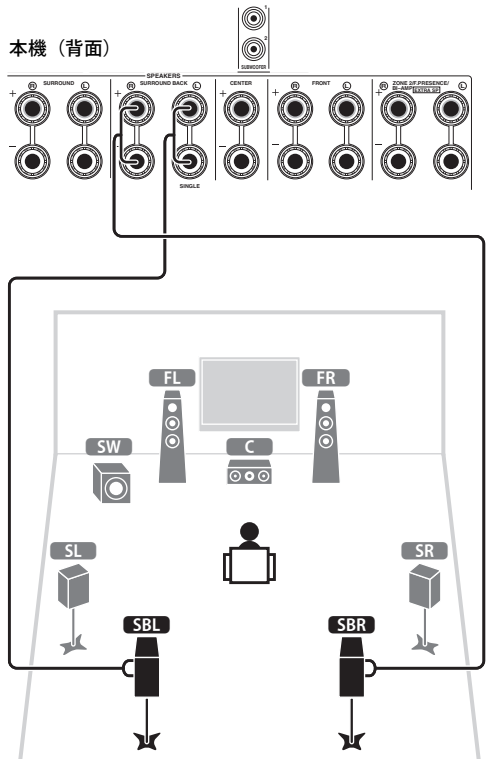


4 サブウーファー（SW）を SUBWOOFER（1）端子に接続する。

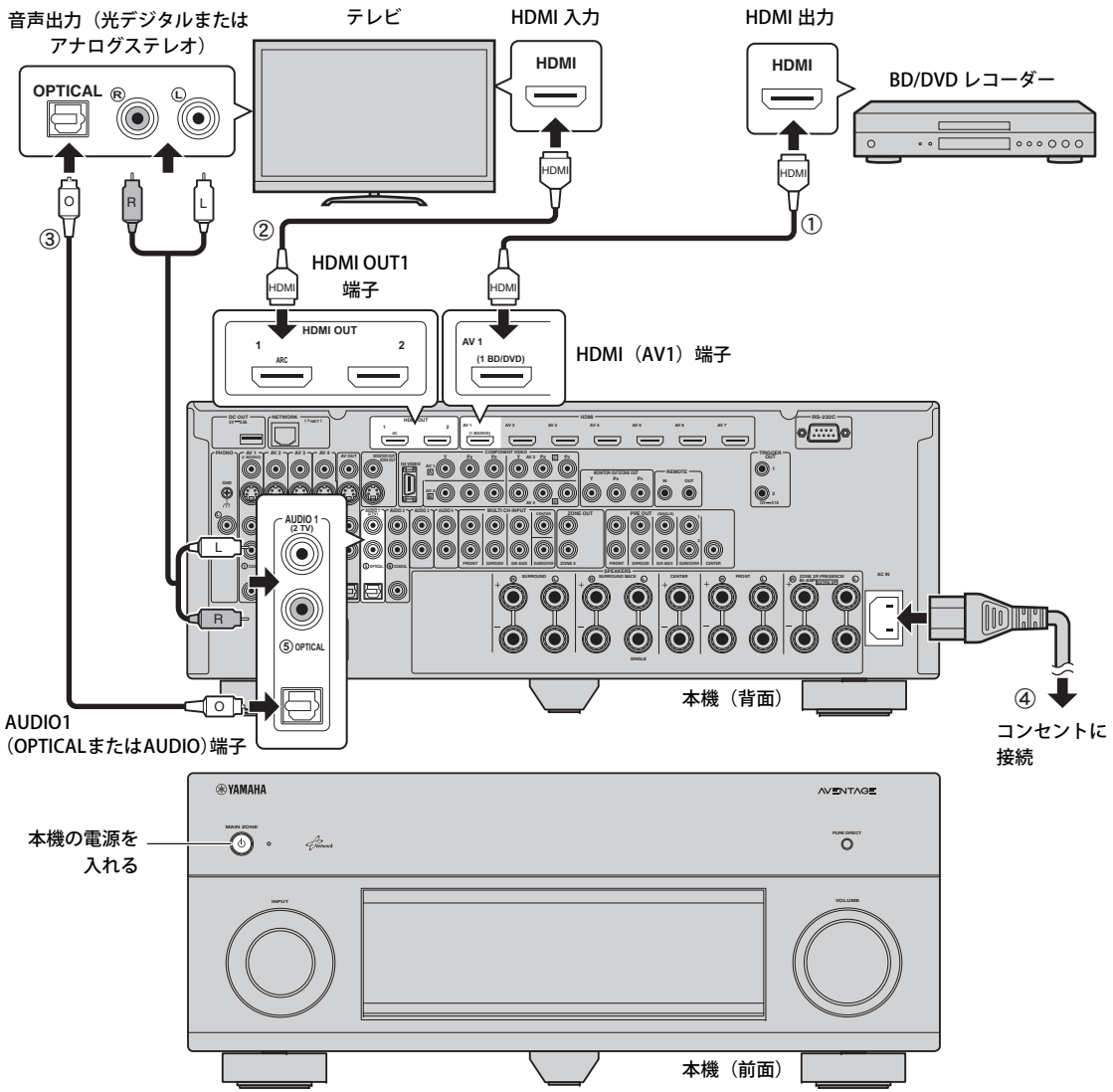


7.1 チャンネルシステムの場合

サラウンドバックスピーカー（SBL/SBR）を SURROUND BACK（Ⓛ/Ⓡ）端子に接続する。



4 外部機器を接続する



1 外部機器を本機に接続する。

① HDMI ケーブルで BD/DVD レコーダーと本機を接続する。

HDMI ケーブルで BD/DVD レコーダーとテレビを直接接続している場合は、テレビからケーブルを取り外して、本機に接続してください。

② HDMI ケーブルでテレビと本機を接続する。

③ 光デジタルケーブルまたはステレオピンケーブルでテレビと本機を接続する。

この接続によりテレビ音声を本機で聴くことができます。オーディオリターンチャンネル（ARC）対応のテレビをお使いの場合は、この接続は不要です。

④ 付属の電源コードを本機に接続し、電源プラグをコンセントに差し込む。

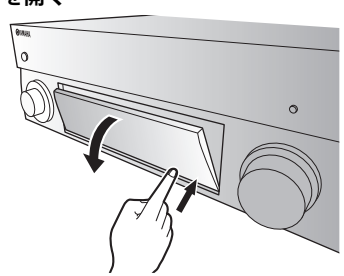
- ラジオのアンテナや、ほかの機器を接続する場合は「取扱説明書」の「準備する」をご覧ください。

2 本機、テレビ、BD/DVD レコーダーの電源を入れる。

3 テレビのリモコンを使って、テレビ側の入力を本機からの映像に切り替える。

これで接続は完了です。次ページでスピーカー設定の自動調整を行ってください。

前面カバーを開く



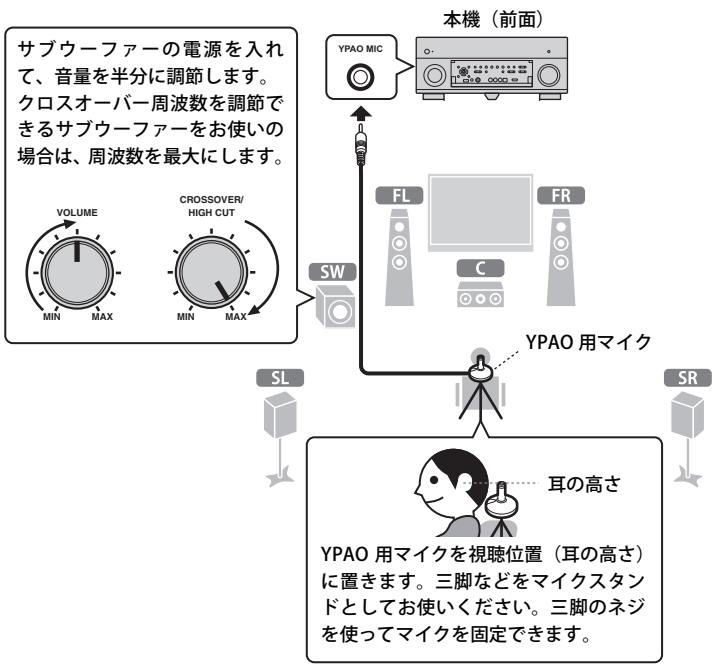
カバーの下側をそっと押す。

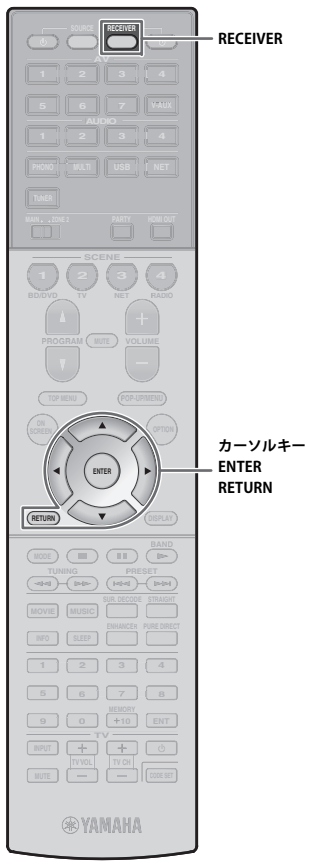
5 スピーカー設定を自動で調整する（YPAO）

付属の YPAO 用マイクを使って、スピーカーの接続や視聴位置との距離を検出し、音量バランスや音色などのスピーカー設定を自動で調整します（YPAO：Yamaha Parametric room Acoustic Optimizer）。

- 測定中は大きな音が出力されます。小さなお子様がいらっしゃる場合は十分にご配慮ください。また、ご近所への迷惑とならないよう夜間の使用は控えてください。
- 測定中は音量を調節できません。
- 測定中は部屋を静かに保ってください。
- ヘッドホンは接続しないでください。
- 測定中は部屋の隅に移動するか退出して、スピーカーと YPAO 用マイクの間を遮らないようにしてください。所要時間は約 3 分です。

YPAO を始める前の準備





1 YPAO 用マイクを前面の YPAO MIC 端子に接続する。

テレビに次の画面が表示されます。



- 操作を中止する場合は、測定前に YPAO 用マイクを取り外します。

2 測定を始めるには、カーソルキーで「測定」を選び、ENTER キーを押す。

10 秒後に測定が始まります。

測定が終わると、テレビに次の画面が表示されます。

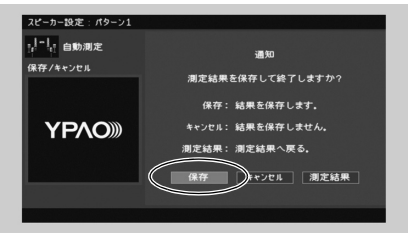


- カーソルキーで操作できない場合は、RECEIVER キーを押してから操作してください。
- エラーメッセージ（E-1 など）や警告メッセージ（W-2 など）が表示された場合は「取扱説明書」の「エラーメッセージ」または「警告メッセージ」をご覧ください。
- 警告メッセージ「W-1：SP 接続逆相」が表示された場合は『「W-1:SP 接続逆相」が表示された場合』（次ページ）をご覧ください。

3 カーソルキーで「保存 / キャンセル」を選び、ENTER キーを押す。



4 カーソルキーで「保存」を選び、ENTER キーを押す。



5 YPAO 用マイクを本機から取り外す。

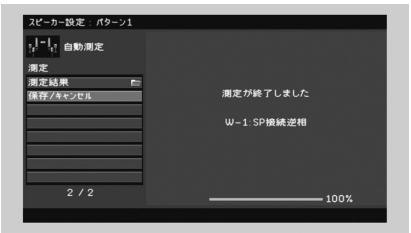
これでスピーカー設定は完了です。

YPAO 用マイクは熱に弱いため、高温になる場所（AV 機器の上など）や直射日光が当たる場所を避けて保管してください。

「W-1:SP 接続逆相」が表示された場合

以下の手順でスピーカーの接続を確認してください。

スピーカーの種類や設置環境によっては、正しく接続されていても警告メッセージ「W-1：SP 接続逆相」が表示されることがありますが、そのままお使いください。



① カーソルキーで「測定結果」選び、ENTER キーを押す。

② カーソルキーで「結線確認」を選ぶ。

③「逆相」と表示されているスピーカーのケーブル接続（＋と－）を確認する。

正しく接続されている場合：

測定結果をそのまま保存して問題ありません。

RETURN キーを押してから、手順 3 以降を実行してください。

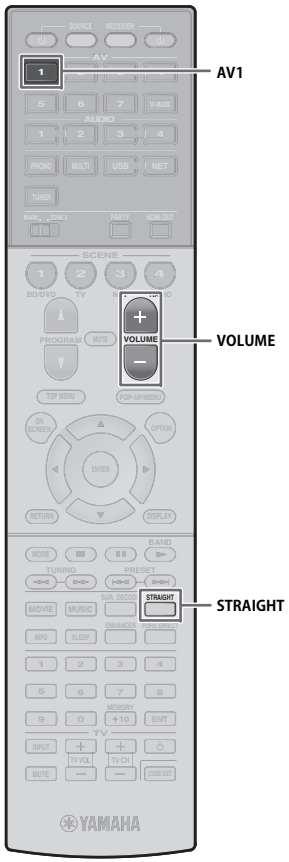
間違って接続されている場合：

本機の電源を切ってからスピーカーケーブルを接続し直して、もう一度 YPAO を実行してください。

6 BD/DVD を再生する

実際に BD/DVD を再生してみます。

サラウンド感を体感するために、マルチチャンネル音声（5.1ch 以上）が収録されているディスクの再生をおすすめします。



1 **AV1 キーで本機の入力を「AV1」に切り替える。**



2 **BD/DVD レコーダーで BD/DVD を再生する。**

3 **STRAIGHT キーを繰り返し押して「STRAIGHT」を選ぶ。**



4 **VOLUME キーで音量を調節する。**



これで 5.1 または 7.1 チャンネルシステムを設置して、本機で BD/DVD のサラウンド音を再生するまでの手順は完了です。

音声がサラウンドにならない場合

マルチチャンネル音声を再生してもフロントスピーカーからしか音が出ない

BD/DVD レコーダー側のデジタル音声出力設定をご確認ください。

PCM など、常に 2 チャンネルで出力する設定になっている可能性があります。

音が出ないスピーカーがある

「取扱説明書」の「故障かな？と思ったら」をご覧ください。

さらにこんな機能も！

ほかにもたくさんの機能があります。

別冊の「取扱説明書」をご参照のうえ、本機の性能を十分にご活用ください。

BD/DVD レコーダー以外の機器を接続する

CD プレーヤーやレコードプレーヤーなどのオーディオ機器、ゲーム機やビデオカメラなどさまざまな外部機器を接続できます。

好みのサウンドを選ぶ

映画、音楽、ゲーム、スポーツ番組など、視聴する内容に合わせてお好みの音場プログラム（シネマ DSP）やサラウンドデコーダーを選べます。

iPod の曲を再生する

iPod 付属の USB ケーブルを使って、iPod の曲を本機で再生できます。

- **FM/AM ラジオを聴く**
- **USB 機器の曲を再生する**
- **パソコン（サーバー）の曲を再生する**
- **インターネットラジオを聴く**
- **iTunes/iPod の曲をネットワーク経由で再生する（AirPlay）**

詳しくは「本機でできること」をご覧ください。

ヤマハ株式会社
© 2012 Yamaha Corporation Printed in Malaysia ZC34710